

亀井野だより 3月臨時号 2026年3月

～2025年度 亀井野小学校学校評価の結果と考察～

藤沢市立亀井野小学校

校長 村田 朋子

今年度は、昨年度の保護者のみなさまからの声を受け、選択肢に「あまりあてはまらない」を加えています。また、設問によりさらに「わからない」を加えている設問もあります。

学校評価 児童アンケート(2・4・6年)

1 学校は楽しい

「あてはまる」「だいたいあてはまる」 合わせて91.2%

2 授業はわかりやすい

「あてはまる」「だいたいあてはまる」 合わせて86.5%

3 学校では、自分や友だちの大切さやみんなが気持ちよくすごすためのルール・マナーなどを教えてくれる

「あてはまる」「だいたいあてはまる」 合わせて88.4%

4 学校にはわたしたちの相談にのってくれる人がいる

「あてはまる」「だいたいあてはまる」 合わせて80.0%

5 学校は、私たちが安全にすごせるようにしてくれている

「あてはまる」「だいたいあてはまる」 合わせて90.0%

学校評価 保護者アンケート(回答数 355 件)

1はお子さんの学年を問う設問のため割愛

2 児童は、元気に楽しく学校に通っている

「あてはまる」「だいたいあてはまる」 合わせて91.9%

3 学校は、教育目標に沿って取り組みを行っている

「あてはまる」「だいたいあてはまる」 合わせて81.3%

「わからない」 10.5%

4 家庭への知らせ(亀井野の子)は、分かりやすい内容になっている

「あてはまる」「だいたいあてはまる」 合わせて90.7%

5 児童のことについて、学校に気軽に相談できる

「あてはまる」「だいたいあてはまる」 合わせて76.5%

「あまりあてはまらない」「あてはまらない」 合わせて21.0%

6 学校は児童の安全を確保するために防災や防犯に取り組んでいる

「あてはまる」「だいたいあてはまる」 合わせて76.5%

「あまりあてはまらない」「あてはまらない」 合わせて13.0%

「わからない」 10.5%

7 学校は、いじめ防止に適切に取り組んでいる

「あてはまる」「だいたいあてはまる」 合わせて54.8%

「あまりあてはまらない」「あてはまらない」 合わせて14.5%

「わからない」 30.7%

学校評価 教職員アンケート

- 1 学校教育目標は、児童の実態や保護者や地域の願いを踏まえた目標になっている
- 2 各種の年間指導計画に基づき、教育活動が行われている
- 3 教育活動についての反省・評価が次年度に活かされている
- 4 学校は、指導方法を工夫し、授業改善に取り組んでいる
- 5 学校以外の教育力をとり入れたり、校外での体験活動を計画的に行ったりしている
- 6 学校は、国際理解、情報、環境、福祉、健康、人権、平和など今日的な教育課題を踏まえて教育活動を行っている。
- 7 学校は、専門的な知識・技能などの向上のため、研修・研究の機会を設けている。
- 8 生活指導上の問題の早期発見・対応に努め、教育相談の充実を図っている
- 9 学校は、児童の安全確保や安全指導・施設点検などに努めている
- 10 学校は、保護者や地域に学校の情報を発信したり、説明の場を設けたりしている。
- 11 児童会活動・委員会活動を計画的に行っている
- 12 学校は、個人情報の保護に努めている。

毎年概ね「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」との回答を得ていますが、「あてはまる」の割合が比較的小さかったり、数名ですが「あてはまらない」と回答した教職員がいたりして、その年の課題と捉えられるものがあります。

項目4、項目8、項目9、項目12については、「あてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせた回答が100%となっています。

本校では、校内研究の充実を図り、教職員が学び合いながら授業をブラッシュアップしていくことについては、真摯に取り組んでいます。また、児童の安全確保や安全指導にも学校全体で力を入れています。

それから、項目5、項目6については「よくあてはまる」の割合が他の項目より少なく、「あまりあてはまらない」の割合が他の項目より比較的多くなっています。これらの項目は、昨年度も改善を図る余地がある課題としてあげていたところですが、十分な改善に至らなかったということになります。

項目5について、校外学習や学校行事、体験活動は再び精選や検討を重ねながら行ってきましたが、今後もっと工夫ができるという教職員の意識が垣間見えるようにも思います。改めて今年度を振り返り、来年度に向けて計画の充実を図っていきます。

項目6について、今日的な教育的課題は未だ山積していて、その全てにおいて十分対応していくことは大変難しいです。しかし、亀井野小学校の子どもたちの実態をふまえた教育活動の充実に、不断の努力で努めていく姿勢は持ち続けたいと思います。

学校評価 学校運営協議会委員アンケート

1. 学校は、教育の目標や方針、行事等の情報をわかりやすく伝えている
2. 学校は、学力保障のために授業を工夫している
3. 学校は、学校行事（運動会など）を充実させている
4. 学校は、地域の特色や教育力を学習や行事などに活かしている
5. 学校は、児童の安全や防犯について取り組んでいる

1～5の項目について今年度も「あてはまる」「だいたいあてはまる」の評価を得ています。

学校運営協議会委員のみなさまには、来校した折に授業を参観していただいたり、運動会や音楽会等の行事にも足を運んでいただいたりしています。また、登下校の様子や放課後、休日の子どもの様子も見守ってくださっています。

そういった中で、「子どもたちと教職員が良い関係を築いている」と評価してくださっているのは有難いことです。また、「地域との関係を大事にしている」「地域とよくつながっている」という言葉を地域の方々である委員さんからいただき、心強く感じる一方、「地域との関係性向上で地域の支援をより強化できる」「地域の理解を得ながらより良い学校づくりを」というご意見もあり、まだまだできることはあると思いをめぐらせています。

地域の方と学校との関係をより密にするためには、大人サイドだけではなく、子どもたちが主体的に地域と関わるような活動や、地域の方が学校の教育活動にもっと入り込むような取り組みが求められます。

今後も多様な視点で学校や子どもたちの実態を見つめ、地域の特色を踏まえた教育活動を推進し、心豊かな子どもたちを育てていきたいと思えます。



2月の第5回学校運営協議会で、今年度の学校評価アンケートの結果を次年度からの学校運営にどのように活かすことができるかご意見を伺い、話し合う時間を設けました。

主な論点は以下の2点でした。

○保護者アンケートで、「学校は、いじめ防止に適切に取り組んでいる」の項目に「わからない」と回答している割合が多い（30.7%）ことについて。

・いじめの定義が以前とは変わっている。子どもは未熟で成長過程にあるので、どうしてもめごととは起きる。それを解決したり、友だちどうし仲良く過ごせるように考えたりする日々の学校生活が学びであり、その学びがいじめ防止につながる。

- ・取り組んでいることがあれば、学校から積極的に情報発信することも必要。
- ・いじめは、早期発見が大切だと感じる。しかし、本人が誰かに言わないと、認知するのが難しいこともある。
子どもが「いじめ」を正しく認識し、お互いに気かけ合う関係づくりをしていってほしい。
- ・子どもが学校であったことを家庭でよく話すようであると良い。
学校が子どもにとって楽しいところであれば、保護者はいじめが防止されていると感じ、安心して子どもを通わせられる。

○教職員は全て「教育相談の充実を図っている」と考えているが、児童の20%は「学校に相談にのってくれる人がいる」と感じておらず、アンケートに回答した保護者のうち21%は「児童のことを学校に気軽に相談できる」と思っていない。
教職員と児童・保護者の感じ方にギャップがあることについて。

- ・いつでも相談してください、と言われていても、先生方が多忙だと思えば相談しにくい。相談日を設けるのはどうだろうか。門戸が開いていれば入って来やすい。
- ・スクールカウンセラーの存在を周知する。
小さなことでも大きなことでもどうぞ、というスタンスを示すために、具体例を挙げて、「こんなことでも相談して良いんだ」と保護者に思ってもらおう。
- ・子どもにとって先生は話を聞いてくれる人だと思うが、保護者にとってはやはり敷居が高い。相談に来る人は、そのハードルを跳び越えてくるのだと思ってほしい。
来にくい人に対して、間口を広げることができると良い。
- ・そもそも相談する必要を感じていない人もいるかもしれない。
教員と保護者のコミュニケーションについて問うアンケート項目にしてはどうだろうか。

本校では、学校HPにも掲載されている「笑顔あふれる学校作りのための基本方針（いじめ対策基本方針）」に則り、日頃の教育活動を充実させると共に、いじめの早期発見と迅速な対応に努めています。また、4年生では毎年いじめ防止教室を行っています。今後は、子どもたちがより主体的に学校生活をより良くすることに関われるような活動を増やしていければと考えています。

それから、今年度よりPTAがなくなったことを機に、保護者と学校とのつながり方を見直しながら1年間を過ごしました。来年度の個人面談や授業参観・懇談会について職員で話し合っただけで決めたことは、3月の学校だよりでお知らせしたとおりです。

今後も、亀井野小学校では、子どもをまんなかに学校・家庭・地域が手を取り合っているコミュニティ・スクールの運営を目指し、いただいたご意見を活かしてまいります。